

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶今月号の特集は「緩和医療における放射線科の役割」です。このテーマについて4人の先生がそれぞれの立場から執筆されています。埼玉県立がんセンター緩和ケア科の余宮きのみ先生は放射線療法と緩和ケアのコラボレーションの現状と課題について述べ、放射線腫瘍医と専門的緩和ケアを提供する医師との連携がより質の高いがん診療の実現に欠かせないとしています。国立がん研究センター中央病院放射線診断科の荒井保明先生はIVRの側面から緩和医療の現状と課題について述べています。IVRで緩和できる症状が数多くあるにもかかわらず、それが知られていないのが現状であり、IVRを十分活用するためには緩和医療に役立つIVRを認知してもらう必要があると説かれています。埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科の高橋健夫先生は、緩和照射は症状緩和において重要な役割を担い、各種症状の原因病巣に対する治療として、効果的な症状緩和が得られることを述べています。金沢大学医学保健研究域医学系核医学の絹谷清剛先生は承認間近な核医学治療や国内での臨床試験が待たれる核医学治療を含め、核医学の側面から緩和医療の現状と課題について書かれています。4論文すべてに共通していることは緩和医療に役立つ放射線医学の認知度は低く、啓発が必要であり、そのためにも緩和ケアを提供する医師との連携が重要であるという点です。各論文とも力作であり、日常診療で直接緩和医療に携わっていない医療従事者にも是非、お読み頂きたいと考えます。

▶さて、COVID-19感染症に関して、我々は相変わらず厳しい試練に直面していますが、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しています。オリンピック・パラリンピックが無事終了し、開催により感染拡大するような事態にならぬよう祈念いたします。

後閑武彦

「臨床放射線」第66巻第7号

2021年7月10日発行（毎月10日発行）

定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 43,670 円（本体 39,700 円＋税 10%）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。